

第42回全国商業高等学校英語スピーチコンテスト北海道予選開催要項

- 1 主催 北海道高等学校長協会商業部会
公益財団法人全国商業高等学校協会
- 2 後援 北海道教育委員会 北海道産業教育振興会
- 3 期日 令和7年6月19日(木)～6月20日(金)
- 4 会場 札幌市教育文化会館
〒060-0001 札幌市中央区北1条西13丁目 電話：011-271-5821
- 5 運営 北海道高等学校長協会商業部会英語専門研究協議会
事務局：北海道北見商業高等学校
〒099-2198 北見市端野町三区583番地1 電話：0157-56-3566
- 6 参加資格
- (1) 全国商業高等学校長協会の会員校在籍生徒であること。
- (2) これまでに、英語を日常語とする外国在学期間が、スピーチの部では1年以上の生徒、レシテーションの部では6ヶ月以上の生徒は出場できない。なお、外国在学期間の年齢は考慮しない。
※英語を日常語とする地域の判断が難しい場合は、事務局へ問い合わせること。
- (3) 過去、全国商業高等学校英語スピーチコンテストにおいて、優勝した者は、優勝した部門にエントリーすることはできない。なお、レシテーション、スピーチの両部門を兼ねてエントリーすることはできない。
- 7 参加人数 1校につき各部門2名までの参加とする。なお、異なる課程を有する学校は、それぞれの課程より各部門2名までの参加を認める。
- 8 日程

(1) 6月19日(木) 受付	12:45～13:30	
審査員打合せ	12:50～13:30	
専門研究協議会	13:00～13:25	※マイクテスト (レシテーションの部出場者)
顧問会議	13:30～13:50	13:30～13:50
開会式	14:00～14:15	
競技(レシテーションの部)	14:20～17:00	
(審査員打合せ)	17:00～17:30	

(2) 6月20日(金) 解錠	9:00	
審査員打合せ	9:30～9:50	※マイクテスト (スピーチの部出場者)
競技(スピーチの部)	10:00～11:30	9:30～
審査員打合せ	11:40～12:15	
閉会式	13:00～13:30	

※進行状況等により、時間帯が変更される場合があります。

※出場選手のマイクテストの時間は、次の通り実施します。

レシテーションの部→6月19日(木)13:30～、スピーチの部→6月20日(金)9:30～

※閉会式の前に研修会を実施する予定です。

9 競技内容

- (1) レシテーションの部
課題文A、B、C、D、Eの中からいずれか1つを選ぶ。
※各課題文の原稿は、別紙の「インターネットを利用した資料のダウンロードについて」に従い、各校でダウンロードする。
- (2) スピーチの部
題材は自由。自分の創作による未発表のもの。身近な事で自分が最も関心のあることを日常的な英語で表現することが望ましい。
※申し込み後のタイトル変更は、可能な限り大会当日は避け、当番校事務局に連絡すること。
- (3) レシテーションの部、スピーチの部共に、発表の際はマイクを使用する。

10 原稿提出

- (1) スピーチの部出場者は、ワープロ(タイプ)印刷した原稿90部を1日目の受付時に提出すること。
- (2) 原稿の用紙は、A4版サイズ縦長1枚を使用し、上部中央にタイトル、上部左寄りに学校名(日本語) その下に氏名(日本語)を記入すること。

なお、「Thanks」の記載は必要ありません。

[例]

学校名
氏名
タイトル

11 審査委員会 商業部会長からの委嘱により構成する。(4名)

12 審査基準

- (1) 別紙「全国評価基準」に準ずる。
 - ア レシテーション配点：英語(60点) 発表(30点) 暗記(10点)
 - イ スピーチ配点：英語(40点) 発表(30点) 内容(30点)
- (2) 審査員1名100点満点 審査委員は4名とする。
総合得点は400点満点とする。
- (3) スピーチ(レシテーション)における時間は3分程度とし、3分30秒を超えたものは審査において総合点より減点する(以下参照)。4分で失格となり、途中でも発表を中止とする。

発表時間	3分30秒	3分31秒～45秒	3分46秒～59秒	4分以上
減点	ベルを鳴らす	-50点	-100点	失格

- (4) 合計点が同点の場合、レシテーションの部は英語、発表、暗記の順に、スピーチの部は英語、内容、発表の順に得点の高い者を上位とする。3項目すべてが同点の場合、審査員の協議で1～6位までを1名ずつ決定する。
- 13 表彰 各部門の成績優秀者(1～6位)を表彰する。また、特別賞等を設けることもある。
 - 14 全国大会 各部門第1位入賞者に全国大会への出場権を与えるものとする。ただし、第1位入賞者が辞退した場合、その次の順位の者が繰り上がるものとする。

15 参加申込

- (1) 電子メール送信による方法
 - ア 「大会参加申込書」を北海道高等学校長協会商業部会のウェブページからダウンロードしてください。必要事項を入力の上、事務局校宛に電子メールで送信してください。
※事務局メール送信先：mika39@hokkaido-c.ed.jp (事務局担当：中川)
 - イ 電子メールで送信した「大会参加申込書」を印刷し、学校長職印を押印の上、大会当日の受付時に提出してください。

16 申込期限 令和7年5月22(木)までに、大会参加申込書を事務局あて電子メール送信又は郵送すること。※電話での申し込みは受け付けません。

17 発表順抽選 令和7年5月29日(木)に大会事務局が行う。

※抽選結果は6月2日(月)までにメールで各校に連絡する。6月3日(火)までに届いていない場合は、事務局まで連絡ください。

18 参加料 参加生徒1名につき1,000円とする。(当日受付で徴収する。)

19 その他

- (1) 参加生徒及び引率教員の旅費は支給しません。宿泊の斡旋もありません。

全国評価基準について

I. スピーチ

A. 評価対象の各セクションの点 英語：40 発表：30 内容：30（合計：100）

B. 各セクションで考慮される項目

1. 英語

a. 音声面

- (1) 話者は聴衆がスピーチを明瞭に理解できるだけの声の大きさと話すが、叫ぶようではない。
- (2) 話者は適切なイントネーションを含めて正しい発音で話すこと。

b. 文法・語彙面

- (1) 話者は正しい文法を使って話すこと。
- (2) 話者は口頭で発表される時に聴衆によって容易に理解される言語を使うこと。

2. 発表

（ここでは、「発表」はその身体的な属性に言及するもので、音声的な属性は上記1.-a.で扱われるので、含まれない。）

a. 話者は聴衆とアイコンタクトを取る。

b. 話者の身体の動きは聴衆がスピーチそのものから気をそがれないように、自然で控えめであること。

c. 話者は堅苦しい、不自然なジェスチャーをしないこと。

3. 内容

a. 話者は自分のスピーチの課題に興味を持ち、同時にそれが聴衆にとって興味深いものであること。

b. 課題や話題は個人的なものであることも、そうでないこともあるが、最終的に聴衆にとって情報を与えるものであったり、有益なものであること。

II. レシテーション

A. 評価対象の各セクションの点 英語：60 発表：30 暗記：10（合計：100）

B. 各セクションで考慮される項目

1. 英語

音声面

- (1) 話者は聴衆がレシテーションを明瞭に理解できるだけの声の大きさと話すが、叫ぶようではない。
- (2) 話者は適切なイントネーションを含めて正しい発音で話すこと。

2. 発表

（ここでは、「発表」はその身体的な属性に言及するもので、音声的な属性は上記1.で扱われるので、含まれない。）

a. 話者は聴衆とアイコンタクトを取る。

b. 話者の身体の動きは聴衆がレシテーションそのものから気をそがれないように、自然で控えめであること。

c. 話者は堅苦しい、不自然なジェスチャーをしないこと。

3. 暗記

話者は作品を完全に暗記し、自然に発表すること。

インターネットを利用した資料のダウンロードについて

- 1 手順
公益財団法人全国商業高等学校協会ホームページ
→ 書類ダウンロード → 競技大会関係
→ 令和7年度第42回全国商業高等学校英語スピーチコンテスト関係書類
- 2 パスワード
「2025taikai」

事務局より連絡

《顧問の先生へ》

1 会場について

駐車場の用意はありませんので、公共交通機関でご来場下さい。

(1) 札幌教育文化会館への最寄りの交通機関は次のとおりです。

①地下鉄

札幌市営地下鉄東西線「西11丁目」駅、1番出口から徒歩5分

②バス

ジェイ・アール北海道バス、北海道中央バス「北1条西12丁目」から徒歩1分

③札幌駅から

地下鉄

札幌市営地下鉄南北線「さっぽろ駅」より乗車、「大通駅」にて東西線に乗り換え

バス

JR札幌駅バスターミナルから、北海道中央バス（円山経由小樽行）、

ジェイ・アール北海道バス（小樽行、手稲営業所、手稲鉢山行）に乗車

(2) スピーチコンテスト会場は「研修室305」で行います。

専門委員会・顧問会議は「研修室303」、審査室は「304」になります。

(3) 受付は、スピーチコンテスト会場「研修室305」で12:45より行います。

提出物は受付で提出してください。

- ①参加料
- ②スピーチ部門出場者は原稿90部
- ③参加申込書（原本）を職印押印

(4) 大会2日目は、9時に大会会場を解錠します。9時より早く来ることをないようにお願いします。

2 発表時の注意事項について

全国英語専門部より下記の報告がありましたので、参考にしてください。

- (1) 平坦な調子で話さない。発表はダイナミックに。
- (2) マイクトレーニングを行い、声を拾いやすい角度にマイクの向きを修正する練習やマイクに息がかからないしゃべり方なども練習する必要がある。
- (3) マイクを使用している練習をすること。 マイクに近づきすぎて声が割れてしまう現象があるので、マイクの前で話をする練習をすること。せっかくのスピーチがうまく伝わらないことがある。
- (4) スピーチでは、文章の内容が重要である。
- (5) ジェスチャーは使わない。コンテストの規定で、ジェスチャーを控えるようにと定められている。
- (6) スピーチコンテストの指導員で質問があれば全商会館にメールを送ってください。

※公益財団法人全国商業高等学校協会 → 競技大会 → 各種競技大会等の様子

→ 令和元年度第36回全国商業高等学校英語スピーチコンテスト 最優秀賞のスピーチ

がアップされています。参考にしてください。

3 その他

- (1) 顧問の先生及び参加者は、開閉会式に参加するようお願いいたします。

《出場される生徒の皆さんへ》

※ 生徒への連絡をお願いします。

- 1 スピーチ原稿の記載についてですが、「Thanks」は書く必要はありません。
- 2 題名は司会者が言いますので、出場者が言わないでください。また、始めと終わりの礼も必要ありません。
- 3 発表時に原稿を持参する場合は、必ず内ポケットなどに入れて下さい。
- 4 原則として原稿を見ないで発表してください。
- 5 マイクのスイッチは、常に「ON」の状態にしておきます。「OFF」にしないようにお願いします。
- 5 制限時間は両部門とも3分程度とし、3分30秒を超えた場合は審査において総合点より減点となります。なお、4分で失格となり、途中で発表をやめていただきます。計時は、原稿の最初の単語を読み始めた時から、最後の単語を読み終えた時までになります。
(3分30秒と4分でベルを鳴らします。)
- 6 服装や頭髪等の身だしなみをしっかりしてスピーチコンテストに臨んでください。

商業部会英語専門研究協議会事務局

北海道北見商業高等学校 中川美香

TEL 0157(56)3566 FAX 0157(56)3564

メールアドレス mika39@hokkaido-c.ed.jp